

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:平成 31年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービスはなまる 都島店

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティションを使用して空間を区切り、活動スペースを明確にしています。	
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に外部研修に参加し、職員の資質向上を図っております。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者との面談の場を設け、成長や課題について明確にし、支援計画に反映させています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月毎に職員同士で話し合い月間プログラム及び児童の支援計画の確認を行っています	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		週ごと・曜日ごとのプログラムに加え、個別でのプログラムを取り入れています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	連絡事項の共有、児童の情報共有の機会をとるようにしています。	連絡事項の伝達だけではなく、児童の様子や、毎日のプログラム内容の確認・支援内容の確認を密に行ってまいります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		プログラムへの取り組み内容についての、反省・改善点を話し合い、次回利用時の支援へと繋げられるよう、打合せの頻度を高めてまいります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援内容に加え、児童の様子で気になる点など細かく記録をとり、支援内容の改善に活かせるようにしています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、支援内容の方向性や取り組みの報告、内容の見直しを行っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		障がい福祉サービスへの移行の実績がまだございませんが、今後そのような機会が出てきた時に、スムーズに移行が出来るよう、体制作りに取り組んでまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在、交流の機会は持つことが出来ておりませんが、今後、保護者の方の要望に応じ計画していきたいと思っております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳に加え、送迎時に保護者に様子を伝えたり、LINEやSNS等で行事や支援の様子を発信しています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者との日々のやりとりだけでなく、支援の様子をより細かく伝えたり、必要に応じて、ペアレントトレーニングを取り入れる仕組みを作っております。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者とのやり取りの中で相談等あれば必要に応じて、面談を行い相談支援や支援内容の見直し等に取り組んで	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会の開催など、保護者同士の交流や情報交換の場を作ることが出来るよう、企画・開催をしていく予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		○		地域行事に参加するだけでなく、事業所での行事も知って頂き、様々な面で交流をはかれるよう努めます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		施設における避難経路や方法等、全職員が把握できるよう、定期的に訓練を取り入れてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		身体拘束についての、マニュアルを作成し必要に応じて保護者に事前に説明し記載していきたいと思います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	アレルギー保有児と項目の一覧表を作成し、常に確認できるようにしています。	診断書及び対応手順を明確に記載し、職員間で対応方法の把握が出来るような体制づくりが課題です。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			